

学校経営について

- ・中高一貫教育校としての特色を生かすために、6 年間で付けたい力を教員間で共有し、教科等の指導方針や指導計画の作成と実践を行う。
- ・各行事とスクールポリシーを紐づけて見える化し、付けたい力を共通理解して指導に取り組む。

学習指導

- ・学びの変革の取組や教科会議を充実させ、常に授業改善に努める。
- ・6 年間を見通した指導計画のもと、生徒の実態とニーズを把握したうえでの授業づくりに努める。

生徒指導

- ・基本的な生活習慣の確立をめざし生徒自身が主体的に動けるような指導を心がけ、問題行動の減少に努める。
- ・SNSの使い方等、情報リテラシーを育てる。
- ・学年部と生徒指導、教育相談等が連携を図るとともに、同一方針、同一歩調で指導できるよう意思統一を図る。

進路指導

- ・様々な経験をととして、自らが進路を開拓できる力を養成する。
- ・「生徒のニーズ」が何にあるのかをはかり、的確な情報提供と実態に応じた進路指導を行う。

特別活動

- ・中・高一体化した部活動の在り方を考えると同時に、学習と無理なく両立が図れるようあり方を見直す。
- ・中・高一貫教育校を意識した行事(文化祭・体育祭・ボランティア活動等)の活性化を図る。

学校図書館

- ・充実した図書館利用がさらに進むよう、総合的な探究の時間以外の教科での活用等を含め、読書指導をさらに推進する。

保健・安全指導

- ・交通安全について指導の機会を増やし、ルールやマナーについての意識向上に努める。
- ・教員・生徒の危機管理に対する意識を高め、避難訓練の意義などを含め十分な指導を行い、より実践に即した訓練となるよう工夫する。

人権教育

- ・差別やいじめを許さない学習環境の醸成を図る。
- ・今日的な課題についての学習を含め人権統一LHRを充実させ、自己肯定感の育成、他者理解の推進を図る。

環境教育

- ・総合的な探究の時間において SDGsの視点から課題研究に取り組み、更なる環境意識の醸成に努める。

事務・管理

- ・中高一貫教育校および DX ハイスクール指定校に相応しい機器の導入に努める。

その他

- ・保護者への連絡機能を十分に活用し、学校情報の積極的な発信に努める。
- ・学園祭、オープンスクールの他、保護者や学校関係者による授業参観などを積極的に行い、教育活動を公開する機会を持つ。